FIWC
Friends International Work Camps

フレンズ国際労働キャンプ（FIWC）関西委員会
定例委員会報告
2003 年 5 月号

参加者：青山哲也、戸張岳陽、西村麻里、福田きよ子、中本有史、岸野春子、香川朋子、稲岡治、桑形さおり、福田まや、森田健一郎、須川浩和　2003 年 5 月 17 日　交流の家にて　担当：青山哲也　書記：香川朋子

G.W 耶馬溪キャンプ（5/3 ～ 5/5）

今年も大分県の耶馬溪にある鈴木健久さんのお宅で、農業のお手伝いをしました。参加者は 29 名（子供 2 人）という大人数でした。ワーク内容は田植えの準備、夏野菜の定植、卵の出荷作業を中心に行いました。今年の目標は、「よく働き、よく食べ、よく飲む。」でした。目標どおりみんな元気よく働き、思う存分食べ、夜遅くまでお酒を飲み語っていました。いつも私達をあたたかく迎え入れてくれる、村の上原市策さん夫婦が猪鍋をご馳走してくれたり、日田で養豚をしている諫山さんから 3kg の豚肉の差し入れがあったりと、おいしいものにも恵まれました。また、以前にも定例会報告で紹介した、田中宇宙・幸子さんの赤ちゃん天馬くん、佐々木文・達也さんの子どもの良緒ちゃんも来て、キャンパーの愛を一身に受けていました。毎年、農業経験の浅い私達をとても大きな心で受け入れてくれる鈴木さん、三浦さんをはじめとする耶馬溪のみなさんに心から感謝します。（西村麻里）

耶馬溪田植えキャンプ（6/1 ～ 6/10）

同じく、上記の耶馬溪で田植えのキャンプがあります。
時期は 6/1 ～ 6/10 頃
今年は田んぼの半分を手植えする予定ですので、ぜひお手伝いください（鈴木さん談）。現在、何人かのキャンパーが参加する予定ですので、詳細を知りたい方は西村麻里まで連絡をください。（西村麻里）

月末キャンプ（4/25 ～ 4/28）

（リーダートレーニングキャンプ）
リーダートレーニングのための勉強会と窯小屋の改築を行なうキャンプをゴールデンウィークの前半に行ないました。勉強会では「ワークキャンプとは何だろうか」「ワークキャンプと定着村、ハンセン病について」「リーダーとは何か」の 3 つのテーマに話し合いました。チューターは何回かキャンプに参加しているキャンパーが行ないました。普段は同じ作業をしていくなかで伝わっていると思っていたことをあらためて言葉にして伝え、問題をいっしょに話し合いました。「リーダーとは何か」のテーマでは KJ 法を使ってみんなの意見を出し合い、リーダーに必要なものは何かを議論しました。これは 6 時間以上のロングディスカッションでした。窯小屋の作業は、内壁に化粧板を貼りつけました。あとは天井裏に化粧板を貼ることと、畳をいれれば完成します。なかなかいい感じに仕上がってきました。参加者は 20 人でした。（青山哲也）

NPO 法人むすびの家　設立総会のご案内

（5/24　午後 1 時から）
交流の家を今後も維持・管理し、ワークキャンプの拠点として利用するために法人を設立します。法人ではハンセン病差別を正すための啓発活動や、療養所入所者・社会復帰者への支援、ワークキャンプ活動などを行っていく予定です。また、法人を設立することで、キャンパーやあらゆる人間を結集し、「よりよい社会建設のため」に新しい動きを作り出していきたいと考えています。ついては、5 月 24 日（土）の午後 1 時から 3 時まで、交流の家で設立総会を行います。この日から具体的な活動が始まります。ひとりでも多くのキャンパーの出席をお願いします。なお、総会終了後に故云飯河夫妻をしのぶ会を行ないます。（青山哲也）

愛生園夏祭り（7/29 ～ 8/1）

日程 7 月 29 日　愛生園入り　/　7 月 30 日　祭り準備　/7 月 31 日　祭当日　/8 月 1 日　祭の後片付け　　※参加費は未定です。
毎年夏に行なわれる長島愛生園（岡山県邑久町）の夏祭りに今年もチンドン隊として参加します。今年は 7 月 31 日（木）に行なわれます。祭の準備と後片付けを手伝うのでキャンプの日程は 7 月 29 日（火）から 8 月 1 日（金）になります。前回の活動ではいくつか反省がありました。ひとつは参加形態が多様であったため参加者の人数把握、行動把握が困難だったこと。参加者が多く宿泊場所を提供してくれた人に大きい負担をおわせてしまったこと。病棟に大人数が入り、音楽を通した「夏祭りの出前」が十分できなかったこと。当日参加者が多く準備・片付けの人数が十分でなかったことです。（自治会はこの手伝いを大変期待している）。今回は、これらの点をできるだけ改善していきたいと思います。
参加者の募集については、上記の反省点を踏まえいくつかのお願いをしたいと思います。1、ひとつは、当日朝のミーティングに参加でき準備か後片付けにできるだけ参加することと、個人で参加することです。また、今回の宿泊は園内の施設を基本としたいので、宿泊可能人数には限りがあります。多い場合は準備・片付けに参加できる人を優先します。人数把握をして準備をすすめていきたいと思いますので、参加希望者は 6 月の定例委員会（6/21）までに青山まで連絡してください。（青山哲也）

定例委員会についての提案

定例委員会のすすめかたについて、最近気になっていることがありました。それは、会議中に飲食をして、私語を話す人が多いことです。定例会は多くの人が貴重な時間を作って参加する会議です。時間中はより多くの人に議論に参加してもらいたいし、より良い話し合いをしていきたいと思います。
そこで、委員会の最中は飲食を控えてほしいと思います。また、せっかく委員会に参加しているのですから、議論の輪からはずれて、別の話しをするのはやめませんか。そうするともっと充実した話し合いができて、時間も早く終わると思います。よろしくお願いします。
（青山哲也）

中国キャンプを中止

今年の夏に中国キャンプをしようと準備をすすめてきましたが今回は中止しようと思います。いま中国では SARS の問題があり、キャンパー自身が感染する恐れがあることやキャンパーが感染し村に広める可能性があるためです。また前回に知り合った広州の大学生たちに会いたいと思っても大学に自由に入れないこともあります。今後の計画はまだ未定です。今回のことについて、あるいは今後の計画について知りたい人は志賀または槻まで問い合わせてください。（槻美代子）

韓国キャンプ下見報告

5 月 3 日から 4 日まで今回のキャンプ地であるシンラク村に下見として一泊してきました。
まずは下見に行ってきた劉成道と国分伸浩の感想の一部の紹介です。

劉成道：　僕は下見に 2 回とも参加しました。そこで感じた、今回のキャンプ地、シンラク村の特徴として村の将来のために外に向けて自らが積極的に動いている点があげられると思います。
　たとえば政府への積極的な呼びかけの結果、村の中心にある健康センターや今月に着工予定の養老院が造られます。
　村の代表さんは言います。たとえ、私たち年寄りが死んでも子ども達にこの村を残していきたいと。むらは外からのボランティア団体を積極的に受け入れており、ボランティア団体を受け入れることによって特に子ども達の心を豊かにしていきたいのだそうです。代表さんは僕達にそれを一番期待しています。実現に向けてがんばっていこう‼
國分伸浩：　やはり今回のキャンプは交流が重要な役割を果たしそうです。むらの人たちも暖かく迎えてくれる人たちが多く、一緒に話したりしている間も笑顔が絶えなかったです。ワークで一生懸命道路を作ること以上に、心の中に大きな絆をつくって帰ってこよう！！

―次に決定事項です―

- キャンプの日程が決まりました！！6 日に出国して 7 日から 19 日までです。
- 緊急連絡先：健康センター
- 村へのチャーターバスを予約しないといけないので、3 週間前には大体の人数をジョナへに伝え、バスを予約してもらう。
- プログラムの早期決定が望まれている。7 月までに全日程の予定を立てて、ジョナへ側、村に連絡する。
- 代表さんの意見で、一日家庭ワークを何日かいれてもいいのではないか？
- 今回は交流中心であるから、何か今までにないような新しいプログラムをやってみよう！！（ホジュンさんの意見）　弁当を持ってみんなでピクニックに行ってはどうだろうか？？

『今年のキャンプは交流中心でやろうという目標があります。こんな交流の仕方もあるんじゃないか？こんなやり方をしてみたらどうか？？などの意見がありましたらぜひお聞かせください！！』
下見報告、下見での決定事項は以上ですがそれ以外の報告です。

- お泊り会は光明園でします。7 月 12 日（土）～ 13 日（日）でするので奮ってご参加ください
- 準備キャンプの日程が 8 月 3 日(日)～ 8 月 6 日(水)に決まりました。
- なんと今年は FIWC と KWCH の 30 周年になります。キャンプアウト後 30 周年イベントを企画しているので、なにかおもしろい企画があればお聞かせください。お願いします！！（森田健一郎）

光明園訪問　5/15（木）

5/15（木）に光明園を訪問し、7 月に交流中心で光明園を訪問することに決まりました。日程は、7/12（土）～ 13（日）です。人数の関係で 1 週間ずれることもあります。これは、例年、韓国キャンプの前に行っていたお泊り会をハンセン病のことを知るためにも光明園で行うという企画です。人数は 20 人位をめどに、韓国キャンプに参加する人だけでなく、興味のある人に参加していただきたいです。ちなみに、宿泊施設でキャンパー同士の交流も出来ますのでご安心を！参加できる人は志賀まで連絡してください！！（志賀純子）

FIWC 関西委員会　会計より

5 月 17 日までにカンパを頂いた方：小田弥一さん
ありがとうございました。
引き続きカンパ並びに委員会費の振込をよろしくお願いします。

交流の家から

維持費カンパを頂いた方：森元美代治さん　日本将棋連盟長島愛生園支部、小田弥一さん、山川千秋さん
ありがとうございました。　郵便振替　00990-7-64532　交流の家

ニュー・キャンパー紹介

今年夏韓国キャンプに参加する島根医科大学看護学科 3 年生中本有史君です！！
　こんにちは中本です。今年、初めてキャンプに参加するので、内心は期待と不安でいっぱいですが、人と人との出会いを大切にしながら楽しんでいきたいと思います。また、キャンプまでに、何度かの研修会が行われるので、できるだけ参加してキャンパーとの交流を図り、キャンプに対するイメージを膨らましたり、仲間づくりをしていきたいと思っています。

新人ナース 1 ヶ月奮闘記

徳永なつ（京都市内病院勤務）
　看護記録でレントゲンをベッドサイドで撮ることを「レントゲン・ポータブル」という。
私はそのまま素直に‘レントゲン・ポータブル’と記録した。その直後 7 年目の男性看護師に呼ばれた。「徳永さんちょっと来て！！」、あ～嫌な予感。「これはなんだ！！」かなり激怒している様子。「ポータブルなんて書かんでいい！！‘ぽ’だろ！！」この看護師は‘ポータブル’と書く間に他の仕事をしろといいたかったのかもしれない。良く考えてみればたいしたことないことでしかられたもんだ！！と思いながら明日もがんばる看護師 1 ヶ月目であった。（つづく）

次回の定例委員会

日時　6 月 21 日（土）19 時から交流の家で行ないます。
担当　香川朋子

発行：フレンズ国際労働キャンプ（FIWC）関西委員会
委員長　劉成道（現在韓国留学中）
委員長代理、連絡先　志賀純子
※ PDF 版では個人の電話番号など個人情報を掲載していません。必要な場合はメールにてお問い合わせください。web@mognet.org
PDF 版製作：茂木亮